

令和6年度土木交通部総合評価方式ガイドライン等 改定概要

(エ-1) 総合評価タイプ選定表

- ・ R1~5 の緩和タイプ (例: 標準型→簡易型) を標準タイプとする。
- ・ 難易度Ⅲについて、価格競争選択可の範囲を廃止し、『総合評価』に見直す。
- ・ 特定調達に係る総務大臣の定める区分および額の通知により WTO 基準額を 27.2 億円に変更する。

(エ-2) モデル工事

① 若手・女性チャレンジモデル工事 [新規]

実績や表彰を評価せず、若手または女性技術者の監理技術者等としての配置を評価する。

② 週休2日+αチャレンジモデル工事 [新規]

土日に加え、祝日も休暇日とする週休2日+αに取り組むことを評価する。

(エ-3) 技術提案の着目点数

業務の効率化、オーバースペック対応として、技術提案の着目点数を見直す。

標準型 I 型: 4~6 項目を 3~4 項目に見直し

標準型 II 型: 3 項目を 2~3 項目に見直し

(エ-4) 評価項目

1) 配置予定技術者等の資格 [変更: 評価対象資格の追加]

- ・ 技術者の育成および技術力向上の意欲を高めるため、橋梁修繕工事および橋梁耐震補強工事等において、監理技術者等に国土交通省登録資格保有者を配置する場合に評価する。

2) 週休2日工事の取組実績 [廃止]

3) CCUS 活用工事 [変更: 評価要件の見直し]

- ・ CCUS の利用促進のため、現場代理人/監理技術者等を除く技能者3名以上が工事期間における就業日数の90%以上で就業履歴を蓄積する場合に評価する。

4) 独自評価項目 [新規]

- ・ 企業の技術力向上の取組を推進するため、国土交通省による表彰等の受賞企業を評価する。

5) 評価項目の設定を見直し

- ・ 「防災協定の締結および重機保有」および「建防災への加入および活動実績」は、地域の担い手育成型モデル工事のみに設定する。(防災協定の締結は、主観点数により評価を継続する。)

(業-1) 総合評価タイプ選定表

- ・ 業務 A の価格競争選択可の範囲廃止し、『総合評価』に見直す。

(業-2) 評価項目

1) 配置予定技術者等の資格 [変更: 評価対象資格の追加]

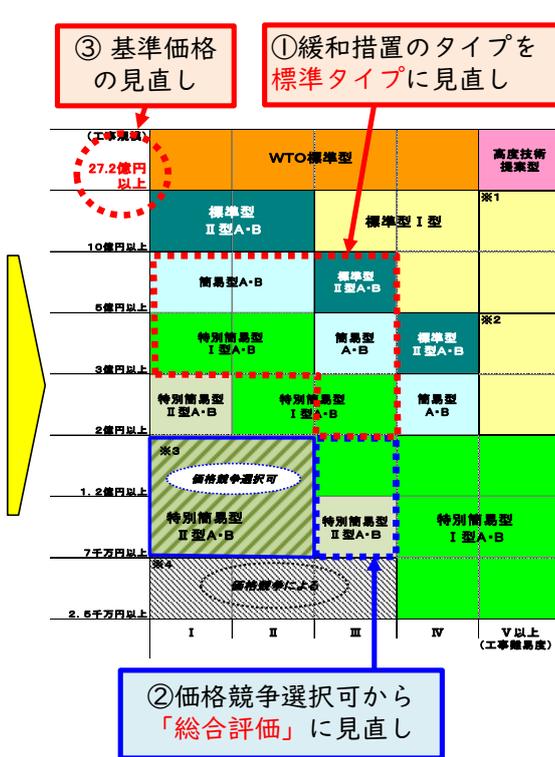
- ・ 橋梁点検や橋梁補修設計業務において、配置予定技術者または担当技術者の資格に国土交通省登録資格保有者を配置する場合に評価する。

令和6年度 総合評価方式タイプ選定表

【舗装以外工事】

R5 タイプ選定表

R6 タイプ選定表

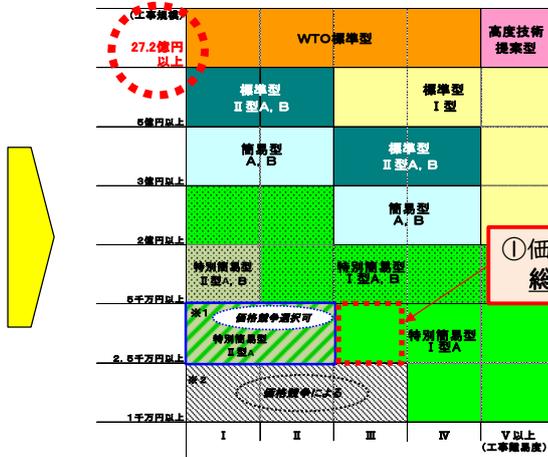
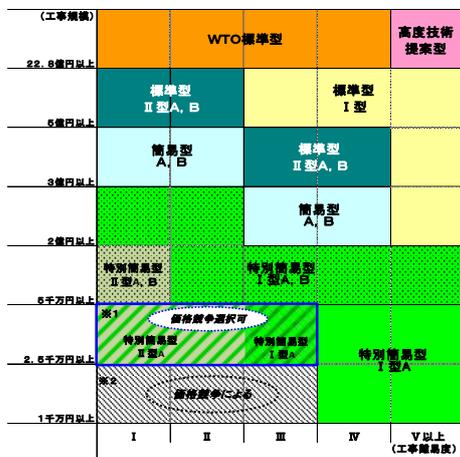


【舗装工事】

R5 タイプ選定表

② 基準価格の見直し

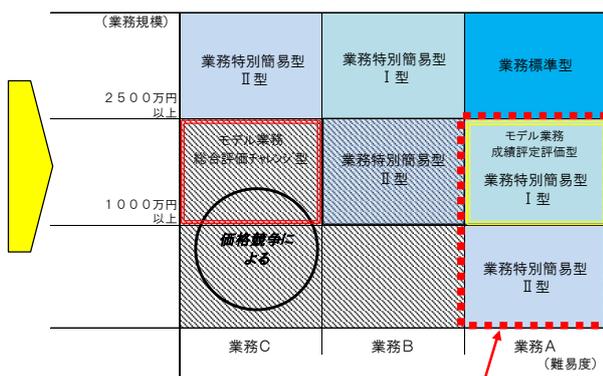
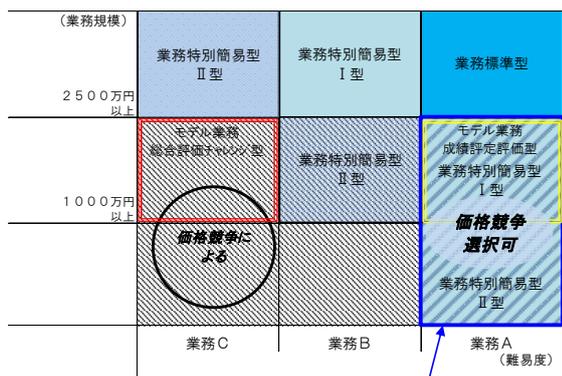
R6 タイプ選定表



【業務】

R5 タイプ選定表

R6 タイプ選定表



令和6年度 総合評価方式の各タイプにおける評価項目設定一覧表

◎：必須の評価項目1（全工事で共通した内容で設定するもの）
 ○：必須の評価項目2（工事毎に選択しながら、必須として設定するもの）
 △：選択の評価項目（工事毎に評価項目として設定するかどうかを判断するもの）

番号	評価の視点	評価項目	配点	総合評価タイプ											備考				
				高度技術提案型	WTO標準型	標準型I型	標準型II型A	標準型II型B	簡易型A	簡易型B	特別簡易型I型A	特別簡易型I型B	特別簡易型II型A	特別簡易型II型B					
①	高度な技術提案	総合的なコストの縮減に関する提案【総合コスト】	工事毎に設定40~50点	○															
		【性能・機能】工事目的物の性能・機能の向上に関する提案		○															
		【社会的要請】社会的要請への対応に関する提案		○															
②	技術提案	【施工管理】施工管理（工程管理・出来形管理・品質管理）方法に関する提案	4点 4~8点※ (1着目点あたり)		○	○ 工事毎に4~6 3~4着目点を設定	○ 工事毎に2~3 2~3着目点を設定	○ 工事毎に2~3 2~3着目点を設定	○ 工事毎に1着目点を設定	○ 工事毎に1着目点を設定								※WTO標準型、標準型I型については個別設定する	
		【目的物の品質】工事目的物の品質や耐久性向上に関する提案	4点 4~8点※ (1着目点あたり)		○	○ 工事毎に個別設定40~50点	○ 24点	○ 12点	○ 12点	○ 4点	○ 4点								※WTO標準型、標準型I型については個別設定する
		【施工上の課題】工事施工において配慮すべき提案	4点 4~8点※ (1着目点あたり)																
③	企業の施工能力	企業の実績	2.0			◎		◎		◎	◎	◎							
④		主観点数（工事成績等）	3.0				◎		◎		◎		◎						
⑤		i-Constructionへの取組	1.0				△	△	△	△	△	△	△	△	△	△			
⑥	技術者等の能力	配置予定技術者等CPD	1.0				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
⑦		配置予定技術者等の実績	1.0			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
⑧		配置予定技術者等の資格	0.5							△	△	△	△	△	△	△			
⑨		技能者の資格	1.0					△	△	△	△	△	△	△	△	△			
⑩	企業の地域性・社会性	防災協定の締結	1.0			◎		◎		◎		◎		◎		◎			
⑪		防災協定の締結および重機保有	1.0					◎		◎		◎		◎		◎			
⑫		建災防への加入および活動実績	0.5					◎		◎		◎		◎		◎			
⑬		県内営業所の有無	3.0			◎		◎		◎※		◎※		◎※		◎※		※簡易型、特別簡易型は1.5点	
⑭		主たる営業所の有無	1.0									△		△		△			
⑮		除雪作業等（※1）	1.0							△		△		△		△			
⑯		県内企業の下請活用（※2）	2.0			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
⑰		現場見学会の開催（※3）	1.0			△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		
⑱		県産材の使用（※4）	0.5			△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△		
⑲		若手・女性技術者の配置	1.0									◎	◎	◎	◎	◎			
⑳	若手・女性技術者の配置（モデル）	2.0																	
㉑	週休2日工事の取組実績	1.0									◎	◎	◎	◎	◎				
㉒	週休2日+αへの取組	2.0																	
㉓	建設キャリアアップシステムの利用	0.5			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			
㉔	その他、発注機関による独自設定項目	0.5※										△		△			※設定内容に応じて1.0点とできる		
㉕	管内企業の下請活用	0.5																	
㉖	手持ち工事量	2.0																	
㉗	CO2削減への取組	2.0																	
配点合計				40 ~ 50	40 ~ 50	33.5 ~ 35.0	19.5 ~ 23.0	22.5 ~ 26.0	11.5 ~ 16.0	13.0 ~ 17.0	11.5 ~ 18.5	11.0 ~ 15.0	8.5 ~ 15.5	8.0 ~ 12.0					
最大加算点合計											11.0 ~ 18.0		8.0 ~ 15.0						

※1：「土木一式工事」ないしは「舗装工事」の場合、設定する。
 ※2：県内に特殊工事を下請負できる企業が存在しないことが明らか場合は対象外とする。
 ※3：建設工事の魅力発信に適した工事の場合、設定する。ただし、「現場環境改善費」を計上していない場合は対象外とする。
 ※4：使用資材に県産材が無いなど設定することが不適切と判断される場合は対象外とする。

令和6年度 総合評価方式の各タイプにおける評価項目設定一覧表

番号	視点	評価項目	配点	モデル工事				
				地域の 担い手 育成	受注機会 促進	CO2削減 取組評価	若手 ・女性 チャレンジ	週休2日 +α
③	企業の 施工能力	企業の実績	2.0					
④		主観点数（工事成績等）	3.0					◎
⑤		i-Constructionへの取組	1.0					
⑥	技術者 等の 能力	配置予定技術者等CPD	1.0	◎	◎	◎	◎	◎
⑦		配置予定技術者等の実績	1.0					
⑧		配置予定技術者等の資格	0.5					
⑨		技能者の資格	1.0					
⑪	企業の 地域性・ 社会性	防災協定の締結および重機保有	1.0	◎	⊕	⊕		
⑫		建防災への加入および活動実績	0.5	◎	⊕	⊕		
⑭		主たる営業所の有無	1.0	◎2.0				
⑮		除雪作業等（※1）	1.0	△				
⑯		県内企業の下請活用	2.0	◎	◎	◎	◎	◎
⑰		現場見学会の開催(※2)	1.0	△	△	△	△	△
⑱		県産材の使用(※3)	0.5	△	△	△	△	△
⑲		若手・女性技術者の配置	1.0	◎		◎		
		若手・女性技術者の配置（モデル）	2.0				◎2.0	
⑳		週休2日工事の取組実績	1.0	⊕	⊕	⊕		
		週休2日+αへの取組	2.0					◎2.0
㉑		建設キャリアアップシステムの利用	0.5	◎	◎	◎	◎	◎
㉒		独自設定項目	0.5					
㉓		管内企業の下請活用	0.5	◎				
㉔		手持ち工事量	2.0		◎2.0			
㉕	CO2削減への取組	2.0			◎2.0			
加算点 合計				8.5～ 11.0	5.5～ 7.0	6.5～ 8.0	5.5～ 7.0	8.5～ 10.0